

令和6年度 高校生防災アクション 実施報告書

学校名	岐阜県立吉城高等学校
テーマ	自分や大切な人そして地域の方々の命を守るための思考力、判断力、表現力を身につけ、災害時には自ら考え、適切な行動ができる高校生をめざす。
目 標	○減災力テストの平均点の向上 ○地域の防災活動に参加 ○「防災士」資格取得に挑戦
主な取組	(1) 防災講座 10月2日(水)放課後 11月6日に実施する2学年合同LHR「防災について考えよう」の事前学習として講師を派遣していただき、校内で実施。2年生の防災リーダー5名と防災委員3名の計8名と職員2名が参加。1月の能登半島地震の災害後のリアルな現状を伺い、飛騨市の防災、減災の取り組みや災害時における高校生の役割について学んだ。 (2) 「防災タウンウォッチング」 10月20日(日)午前 3年生1名と2年生4名の計5名の生徒と1名の職員が参加。飛騨市立古川中学校周辺を防災という視点で小学生や中学生とともにグループでフィールドワークを実施。AEDの設置場所を確認したり、河川の水位計や防災カメラによる安全確認の方法、備蓄コンテナの中身やマンホール利用による仮設トイレの設置予定を実際に目にしたりすることができた。グループでは小学生や中学生たちのまとめ役としての活動も行った。 (3) 2年生合同LHR「防災について考えよう」11月6日(水)6時間目 生徒防災委員会(防災リーダー5名・防災委員4名)が、企画、運営、司会、進行し、体育館で2年生合同の防災について考えるLHRを実施。 ① 防災についてパワーポイントによる全体説明 防災士の資格を有する防災リーダー2名が、防災および減災についての説明を行った。 ② 災害図上訓練(DIG)の実施 居住地区に27グループ(1グループ4名程度)に分かれ、ハザードマップを確認しながら、各自の自宅周辺の危険箇所や避難場所までの経路の確認。いくつかの場面を想定し、グループでの意見交換を行った。その後、全体でのグループ発表。 (4) 「防災士資格取得」の啓発活動(説明会) 11月29日(金)昼休み 飛騨市では毎年「防災リーダー養成講座」を3日間実施しているので、生徒に積極的に参加してもらうように防災委員会と呼びかけを行い、最終的には、防災士の資格取得を奨励している。 今年度の目標は、10名である。

	減災力テスト	2 年生				
		平均点	1 回目	54.1	2 回目	59.6
目標に対する 成果	○減災力テストの平均点の向上 平均点が、5 点以上アップした特に「風水害・土砂災害から命を守る情報収集や判断」の項目の設問においてポイントが高くなった。防災について考える合同 LHR 実施の成果だと思われる。 ○地域の防災活動に参加 「防災タウンウォッチング」に参加し、飛騨市防災士会の方々から生徒の様子に高評価をいただいた。町の危険箇所や防災の備えを実際に自分の目で確認できたことは、防災や減災意識を高めることにつながったと思う。 ○「防災士」資格取得に挑戦 実際にはこれから申し込みが始まり、来春 2、3 月に受講、受験となるのでまだ成果はわからないが、防災アクションの取り組みを通して「防災士」の資格を取得したい、という声が生複数名の生徒からあがってきている。					
目標に対する 今後の課題	減災力テストの向上が、1 つの客観的評価となるが、「災害から命を守る近所づきあい」という項目は学校内の取り組みだけでは限界がある。生徒の防災意識を高める啓発活動によって自主的な行動を促す努力が必要だと考える。そのために今後もより一層校内の防災リーダーや防災委員の活動の場を広げ、積極的に地域の防災活動に関わる方策を考えていきたい。実際に災害を被った時、地域の方々との協力が一番大切だと思う。協力体制を整えていきたい。					
次年度の 取組 (本年度の学びをどの ように引き継ぐか、ま たは深めるか)	今年度の防災リーダーおよび防災委員の活動を蓄積し、来年度も改善しながら継続していきたい。合同 LHR だけでなく、ポスター掲示等で防災や減災の啓発活動を行えるとよい。地域の防災活動へは今年度同様に積極的に関わっていきたい。また防災士の資格取得については、年度当初から計画的にアピールしていきたい。					